

シェルポーチの作り方

手順

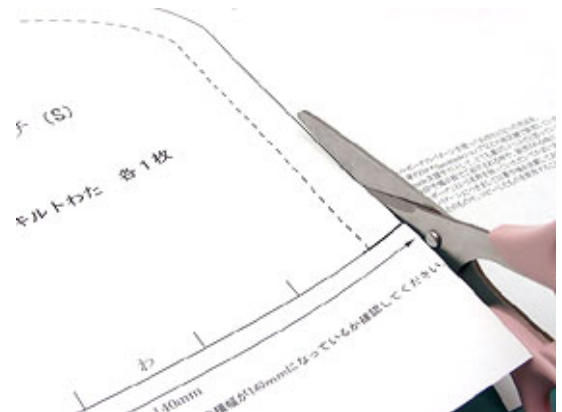
- 1、パターンを切る
- 2、表布を裁断し、印を入れる
- 3、裏布、キルトわたを裁断する
- 4、表布にキルトわたを貼る
- 5、表布と裏布を縫い合わせる
- 6、ファスナーをつける
- 7、タックを取って、リボンをつける
- 8、端を縫う
- 9、縫い代の始末をする
- 10、表に返す



ここではシェルポーチ(S)をご紹介しますが、シェルポーチ(L)も作り方は同じです。

1、パターンを切る

パターンにはすでに1cmの縫い代が含まれています。実線通りに切ります。



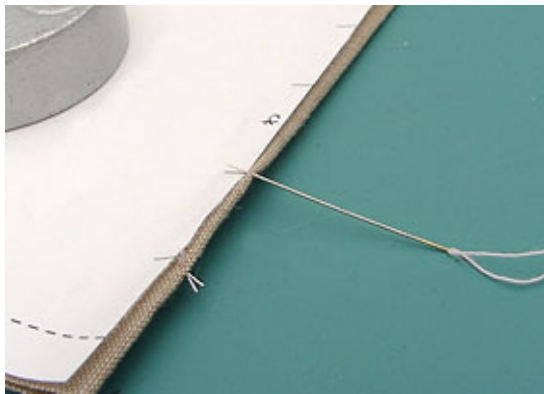
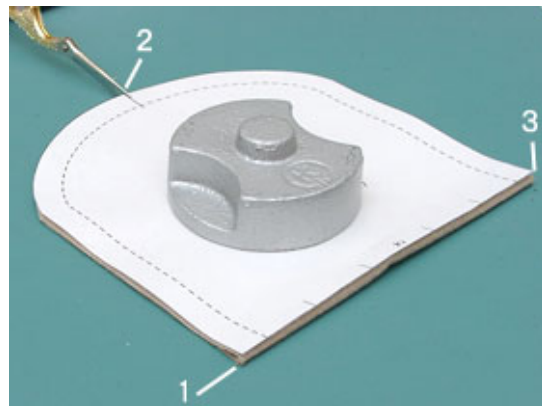
2、表布を裁断し、印を入れる

(1) 布の上にパターンを置き、裁断します。



(2) 合印にノッチ(2~3ミリの切り込み)を入れます。入れる箇所は3箇所あります。右の写真を参考にしてください。

わの部分の合印にはしつけ糸で印を入れます。



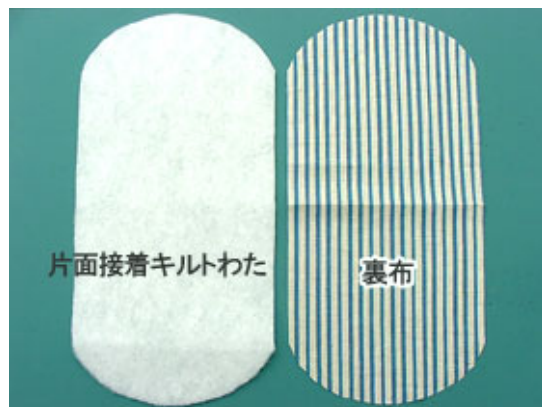
3、裏布、キルトわたを裁断する

(1) 裏布を裁断し、3箇所にもッチをいれます。

わの部分の合印にしつけ糸で印を入れる必要はありません。

(2) キルトわたを裁断します。

ここでは片面接着キルトわたを使用していますが、接着タイプのものでなくても構いません。



4、表布にキルトわたを貼る

キルトわたの接着面を上にして置き、その上に表布を重ね合わせて、上からアイロンで接着させます。



5、表布と裏布を縫い合わせる

(1) 表布と裏布を中表にして、合印をあわせます。

ポーチの口になる部分を縫います。端から1cmのところを縫います。



(2) 上の5、(1)で縫ったカーブの縫い代に1.5センチ間隔で切り込みを入れます。

切り込みは縫い目から2~3ミリ手前まで入れます。



(3) 表に返し、アイロンで形を整えます。



(4) 表布と裏布がずれないように両サイドにミシンをかけておきます。
端から7ミリぐらいのところにかけます。



NEXT

6、ファスナーをつける

(1) ファスナーのスライダーがスムーズに動く位置にファスナーをつけます

こまかくマチ針でとめるか、もしくはしつけ糸でしつけをします。



(2) ミシンをかけます。

ファスナーのスライダーが邪魔になる時は、スライダーの位置を前後に動かして、ミシンをかけます。



7、タックを取って、リボンをつける

(1) 印と印をあわせて、タックを中央に倒します。



(2) ノッチを入れた合印から合印をミシンで縫います。



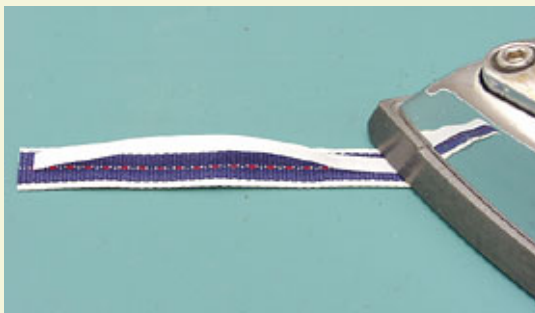
裏から見た図

(3) マチ針でリボンをとめて、ミシンをかけます。



両面接着テープをお持ちなら・・・

(1) リボンの裏面に両面接着テープをアイロンで貼ります。



(2) 剥離紙をはがします。



(3) ポーチにアイロンで接着させ、ミシンをかけます。

リボンがずれないので縫いやすくなります。



8、端を縫う

中表にあわせて、端から1cmのところを縫います。

BACK



NEXT

9、縫い代の始末をする

縫い代をバイアステープでくるんで縫います。バイアステープの幅はお好みでいいと思います。

市販のバイアステープでももちろんいいのですが、私は18ミリ幅のバイアステープメーカーを使って、裏地と同じ布でバイアステープを作りました。



(1) バイアステープの幅にあわせて縫い代をカットします。私は7ミリぐらいに切り落としました。余分なファスナーもカットします。



(2) バイアステープの片側を縫い付けます。



(3) ポーチをひっくり返して、バイアステープの縫い代を織り込みます。



(4) マチ針をうちます。



(5) ミシンで縫います。もう片方の縫い代も同様にします。





10、表に戻して完成です



「シェルポーチの作り方」に記載している内容は、Peachmadeオリジナルの作り方であって、この方法が一般的であるとは限りません。

BACK